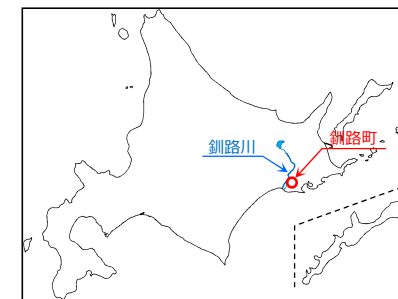


避難所運営ゲーム「D○はぐ」を通じて災害時の対応などを学びました。

◆避難所ではどんな生活が待ち受けているのでしょうか？

災害が発生し被災者として避難所に向かったが、避難所では運営側として行動しなければならない可能性も考えられます。
様々な状況で集まった住民による避難所での生活は、何が起こるか分からず対応もむずかしいですが、事前に学習や訓練する事により、対応は全く変わってきます。



※避難所運営ゲーム（HUG）

避難所を運営するにあたり、様々な事象への対応をカードゲームとして疑似体験することで、自らの備えや地域の防災対策の課題を見つけやすくする目的で活用。「D○はぐ」は北海道ならではの積雪寒冷の観点や、東日本大震災の教訓を付加した避難所運営ゲーム（HUG）。静岡県が開発したHUGを北海道版として北海道が作成。

今回の研修は、**冬季に低気圧による大雨により釧路川が氾濫危険水位まで達し住民が避難したという想定で、地域住民と釧路東高校生徒会との共同で5つのグループに分かれ、避難所の図面を基に始めに本部の設置位置、次に**通路の確保や物資の置き場所を決定したあとカードに書かれた家族構成、病気やペットの有無について確認し、場所の選定について話し合いました。****

その後、各グループごとの内容発表を行い、事前に準備した炊出しを試食し終了しました。

- ・ 釧路町 地域づくりセミナー 避難所運営ゲーム(HUG)研修会（主催：釧路町）
- ・ 平成28年12月4日（日） 釧路町コミュニティーセンター
- ・ 地域住民、釧路東高校の生徒ら約40人によるHUG実習

◆釧路川では、氾濫が発生することを前提として社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

◆**低平地が広がる釧路川下流域は釧路川の氾濫により長期にわたり浸水する可能性があり、住民の避難行動の長期化が懸念**されることから、**避難所運営ゲームによる研修や防災教育の実施等、釧路川の減災に向けた取組を推進**しています。

（参考）釧路開発建設部HP：<http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/kasen/mizubousai/index.html>